



# 文部科学大臣賞(2件)

<b>文部科学大臣賞</b> 「個人・グループ・学校」分野	受賞者名
	所在地
	受賞テーマ

**学校法人本城学園 本城東幼稚園**

福岡県北九州市八幡西区

**幼稚園と家庭と地域が繋がるエコ活動の輪**

受賞者は、昭和 29 年に自治区会が設立した日本国内でも珍しい幼稚園である。「節電」・「節水」・「ペットボトルの蓋」や「雑がみ」の回収・「生ごみの堆肥化」など、様々なエコ活動を行っていて、現在は、特に「コンポスト（生ごみの堆肥化）」が、唯一子ども達の手で出来るリサイクルと位置付け、力を入れている。

自園の畑で野菜を育て、収穫して食べ、そして、その時に出了皮などを再びコンポストで堆肥化する。完成した堆肥を、畑にまき、栄養満点の土の畑でまた野菜を育てる。つまり子ども達の手でリサイクルの輪が回っている、と受賞者は考えている。また、食育とエコ活動が結びつき、子ども達にとってエコ活動がこれまで以上に当たり前の活動となっていると感じている。

○『日頃から取り入れている環境教育』

- ・ポスターの掲示  
子ども達の目の届くところにポスターを貼る。  
日頃から目にする事で、自然と意識することができるようになる。
- ・「節電」・「節水」に対して、日頃から意識付けを促す。

○『生ごみの堆肥化（コンポストとの関わり）』

- ・子ども達も親しみを持っている「たべるちゃん」と「たべおくん」当番活動の一環として、子ども達がコンポストと関わっている。それぞれに名前が付いており、子ども達は親しみを感している。



たべるちゃんが喜んでくれてるね!!

○『食育を通してのエコ活動』

- ・生ごみの堆肥化を行い、自園の畑に混ぜ込む。そして、栄養満点の畑で、子ども達が野菜を育て、収穫した野菜でクッキング。それが生きる力へと繋がっていく。育て、収穫し、味わう。その感動を子ども達はしっかりと胸に刻み、大きくなっても食べ物や物を大切に作る心を育てている。



美味しくな～れ♪

○『保護者（大人）も巻き込んでの環境教育』

- ・家庭教育学級、ゴミ 0 運動、エコ教室を通じて、子ども達と一緒に参加する事でエコの知識を共有する。
- ・親子でクッキングをする事で、食べ物や「もったいない」と思う気持ちの大切さに気付く。



お母さんと一緒にエコバックを作ったよ♪

資源倉庫の使い方を、みんなで確認



**エコ活動が広がっていく!!**



グリーンカードを活用！  
子どもの自発性を促す！

エコ活動が特別な活動ではなく当たり前の活動となるように、そして子ども達から家庭へ、更に家庭から地域へと、エコ活動の輪が広がっていくように、受賞者はその潤滑油となっていきたいと考えている。